

令和7年度 環境まちづくり基金活用事例

① 公用車におけるZEVの導入(市所有車両管理事業) 3,880,360円

ZEV(ゼロエミッション・ビークル)とは、走行時に二酸化炭素等の排出ガスを出さない乗り物のことで、電気自動車(EV)や燃料電池自動車(FCV)などが該当し、従来のガソリン車と比較して大気汚染や地球温暖化等環境問題の改善につながると言われています。

吹田市では、公用車からの温室効果ガス排出量を削減するため、公用車の電気自動車への切り替えを順次進めています。



令和6年度 環境まちづくり基金活用事例

②LED化リース費用(環境政策事業) 86,718,082円

公共施設139施設について環境部主導による照明の一括LED化をリース方式により実施し、令和6年度よりリースを開始しました。

LED照明は消費電力が小さく耐用年数が長い
ため、省電力化及び維持管理費の低減につながります。



LED化



③災害廃棄物処理計画策定 (ごみ減量・再資源化促進事業) 6,618,700円

地震や風水害時などの災害時に発生する廃棄物を適正に処理するための「災害廃棄物処理計画」を策定しています。

また、災害廃棄物を迅速に収集・処理を行い、災害前の状態に戻すことができる計画とし、その計画の実行性を確保するために職員及び住民向けの対応ツールを作成します。